

## 昭和61年度日本気象学会総会議事録

日時 昭和61年5月22日(木) 13時00分～14時00分

場所 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁講堂

### 総会次第

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 各賞受賞者選定経過報告
5. 学会賞授与
6. 藤原賞授与
7. 昭和60年度事業経過報告
8. 昭和60年度会計決算報告
9. 昭和60年度監査報告
10. 昭和61年度事業計画案, 予算案審議
11. 名誉会員の推薦
12. その他
13. 閉会の辞

### 出席者数

出席者	186名
委任状	656名
計	842名

#### 1. 開会

花房理事から定款第38条による総会成立に必要な出席者数698名(通常会員現在数3,488名の5分の1),うち委任状によらない出席者140名(通常会員の25分の1)が満たされているので総会は成立するとして,開会が告げられた。

#### 2. 議長選出

花房理事が議長選出は出席会員の互選によるが,慣例にしたがい大会委員長の浅井富雄会員を推薦したいと語ったところ,満場一致で承認され,同会員が議長に選出された。

#### 3. 議長挨拶

浅井議長から,ご指名により議長をつとめさせていただき,ご協力をお願いする旨の挨拶があった。

#### 4. 理事長挨拶

山元理事長から概要次のような挨拶があった。

- (1) 会員数の動向については理事会においても関心をもって取り組んできた。昨年と比較すると4月1日現在の会員数が3,488名で約30名の微減にとどまったことを報告し,会員の協力によるものと感謝する。

- (2) 昭和59年度総会で承認された会費値上げは昭和60年度より年度を通して学会運営に反映されることになるので,その点を中心としてふりかえってみたい。

#### ア. 機関誌の充実

天気,気象集誌ともに増頁をして内容の充実をはかってきた。

#### イ. 事務体制の強化

事務の機械化については昨年パーソナルコンピュータ(PC-9801VM4等)を導入し,ソフトウェア及びデータの整備に努めている。

#### ウ. 国際学術交流の促進

##### (ア) 中国気象学会代表団の訪日

一昨年日本気象学会代表団が訪中したのに引き続き,昨年(昭和60年10月17日～31日)は中国気象学会代表団5名が訪日し,札幌,東京,筑波,名古屋,京都を訪問するとともに,大阪での秋季大会に参加し,友好を深めた。

##### (イ) IAMAP '85

昨年ハワイで開催されたIAMAP '85総会に出席した4名の会員に対して補助を行った。

##### (ウ) 国際学術交流基金

事業費からの基金への繰り入れに加え,会員の協力もあり,基金が300万円に達した。

##### (エ) 支部活動の強化

- (3) 昨年インド気象学会からインド長期予報100年記念セミナーの後援依頼があった。日本気象学会はキーノートスピーカー2名を派遣し,これに応えることとした。

- (4) WMO/IUGG主催の短期・中期数値予報国際シンポジウムが8月4日～8日まで気象庁において開催されるが,日本気象学会はこれを後援し,特にシンポジウムのプロシーディングスを気象集誌の特別号として刊行(62年度)する準備を進めている。

- (5) 国際学術交流を一層盛んにするために基金を増額させることを目的に,会員有志からの募金を実施したい。さらに,これをもとに広く基金への協力依頼を行うことを考えている。

- (6) 昭和60年11月3日,和達清夫名誉会員が文化勲章を受章された。これは日本気象学会全会員の名誉と考え,祝意を表する次第である。

(7) 日本気象学会に特に功勞のあった3名の会員を名誉会員に推薦したいと考えている。本日議題として提案するのでよろしく審議願いたい。

(8) 国際計画として中層大気観測計画いわゆる MAP 計画が終了し、それに引き続いて近く WCRP (気候変動国際協同研究計画) が発足するものと思われる。一般の気象学への関心が高められるので、会員増に対する一層の協力をお願いする。

#### 5. 各賞受賞者選定経過報告

(1) 日本気象学会賞の受賞者選定の経過及びその理由について広田担当理事から報告があった。

(2) 藤原賞の受賞者選定の経過及びその理由について広田担当理事から報告があった。

#### 6. 日本気象学会賞の授与

山元理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

○村上勝人会員 (気象研究所)

○安成哲三会員 (筑波大学)

「熱帯域における大規模循環の変動に関する研究」

#### 7. 藤原賞の授与

山元理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

○村上多喜雄会員 (ハワイ大学)

「モンスーンの研究及びその発展に尽した功績」

#### 8. 昭和60年度事業報告

田宮庶務担当理事が、概要次のとおり報告した。

##### (1) 機関誌等の刊行

ア. 天 気 32巻4号～33巻3号, 12冊 657頁  
(32巻1号～12号, 12冊 681頁)

イ. 気象集誌 63巻2号～64巻1号, 6冊 1,200頁  
(63巻1号～6号, 6冊 1,184頁)

ウ. 気象研究ノート 152号 (125頁)

##### (2) 会 議

###### ア. 総 会

昭和60年5月23日 気象庁

出席者: 143名, 委任状: 746名, 計: 889名

昭和59年度事業報告・決算, 昭和60年度事業計画・予算等が承認された。

イ. 理 事 会 第23期 第3回～第4回 計2回

ウ. 常任理事会 第23期 第8回～第17回 計10回

エ. 評議員会 第23期 第2回

##### (3) 講演会および研究会

ア. 春季大会 昭和60年5月22日～24日

東京: 気象庁

(担当: 東京管区気象台)

イ. 秋季大会 昭和60年10月29日～31日

大阪: 科学技術センター

(担当: 関西支部)

##### ウ. 月例会等

(ア) 南極圏の気象 (第3回) 昭和60年5月21日

(イ) 第29回山の気象シンポジウム

昭和60年6月15日

(ウ) 南極圏の気象 (第4回) 昭和60年10月28日

(エ) レーダー気象 昭和60年12月6日

(オ) 長期予報と大気大循環 昭和61年2月25日

##### エ. 他学会との共催等

(ア) 第22回理工学における同位元素研究発表会

昭和60年7月1日～2日

(イ) 第3回エアロゾル科学・技術研究討論会

昭和60年8月22日～24日

(ウ) 極東域におけるモンスーンに関する国際研究集会

昭和60年11月5日～8日

(エ) 第32回風に関するシンポジウム

昭和61年1月24日

##### (4) 研究業績の表彰および研究の奨励

###### ア. 研究業績の表彰

(ア) 日本気象学会賞

木田秀次会員

宮原三郎会員

(イ) 藤原賞

岸保勲三郎会員

(ウ) 山本賞

山内 恭会員 (1983年分)

高橋正明会員 (1984年分)

山本賞 (気象学会の部) 受賞者選定規定の改正に伴い本年度は2名受賞

###### イ. 奨励金受領者

中田隆一会員

水野 量会員

名越利幸会員

##### (5) 支部活動

###### ア. 北海道支部

(ア) 昭和60年度第1回支部研究発表会 (札幌)

昭和60年6月10日

(イ) 北海道支部地方講演会 (旭川)

昭和60年11月2日

(ウ) 昭和60年度第2回支部研究発表会(札幌)  
昭和60年11月29日

イ. 東北支部

(ア) 昭和60年度東北支部地方講演会(青森)  
昭和60年10月16日

(イ) 昭和60年度東北支部講演会(仙台)  
昭和60年10月25日

(ウ) 昭和60年度東北支部地方講演会(福島)  
昭和61年1月24日

ウ. 中部支部

第3回中部支部研究会(名古屋)  
昭和60年11月29日

エ. 関西支部

(ア) 関西支部年会(講演会)(大阪)  
昭和60年5月29日

(イ) 例会(講演会)(広島)  
昭和60年11月7日

(ウ) 例会(講演会)(神戸)  
昭和61年1月31日

(エ) 例会(講演会)(京都)  
昭和61年2月28日

オ. 九州支部

昭和60年度九州支部講演会(福岡)  
昭和61年2月7日

カ. 沖縄支部

沖縄管内気象研究会(那覇)  
昭和61年2月27日~28日

(6) 普及活動

ア. 第19回夏季大学  
昭和60年7月30日~8月2日 気象庁

イ. 関西支部第7回夏季大学  
昭和60年7月31日~8月2日  
大阪府労働センター

ウ. 北海道支部第3回夏季講座  
昭和60年8月1日~8月2日  
札幌青少年科学館

(7) 国際学術交流

ア. 中国気象学会代表団の訪日  
章基嘉団長以下5名の代表団が、昭和60年10月17日~31日來日し、札幌、東京、筑波、名古屋、京都を訪問するとともに、大阪での秋季大会に参加し、交流を深めた。

イ. IAMAP(1985)総会参加補助

昭和60年8月ハワイで開催されたこの会議に参加した4名の会員に、補助を行った。

(8) 日本学術会議会員

本学会から届け出た沢田龍吉会員が、第13期日本学術会議会員として推薦され任命された。

なお、日本学術会議法の改正に伴い、会員の候補者の選定及び推薦人の指名方法について検討したところ、定款の改正は必要ないとの結論が得られた。しかしながら選定・指名の手続きの詳細については、次年度以降引き続き検討を行うこととした。

(9) 事務の機械化

事務体制の強化のため、パーソナルコンピュータ(PC-9801VM4等)及びソフトウェアを整備した。

(10) その他

昭和60年11月3日、和達清夫名誉会員が文化勲章を受章されたことに対し、評議員会メンバーにより、受章祝賀会を開催する等、学会としての祝意を表した。

9. 昭和60年度会計決算報告

土屋会計担当理事から資料にもとづき収支計算書、貸借対照表、財産目録について報告があった。

10. 昭和60年度監査報告

丸山監事が昭和61年4月18日、監査を実施した結果について、資料にもとづき報告があった。

議長が事業報告、会計決算報告、監査報告の3件につき、承認を求めたところ多数により承認された。

11. 昭和61年度事業計画(案)の審議

田宮庶務担当理事から概要次のとおり説明があった。

(1) 機関誌の刊行

ア. 天気 33巻4号~34巻3号(24頁増)

イ. 気象集誌 64巻2号~65巻1号(36頁増)

ウ. 気象研究ノート 153号~156号

天気、気象集誌は内容の充実に努める。

(2) 講演会および研究会

ア. 春季大会 昭和61年5月21日~23日

東京:気象庁

(担当:東京地区大学)

イ. 秋季大会 昭和61年11月5日~7日

名古屋:愛知厚生年金会館

(担当:中部支部)

ウ. 月例会等 例年どおり

(3) 普及活動

ア. 第20回夏季大会 昭和61年7月28日~7月31日

## 気象庁

## イ. 関西支部第8回夏季大学

昭和61年7月28日～7月30日

大阪府立労働センター

## ウ. 北海道支部第4回夏季大学

昭和61年7月31日～8月1日

札幌市青少年科学館

## (4) 国際学術交流

## ア. インド長期予報百年記念セミナー

学会が後援する。キーノートスピーカー2名を派遣することにし、補助を行う。

## イ. 短期・中期数値予報国際シンポジウム(WMO/IUGG 主催)

このシンポジウムを後援するとに、気象集誌特別号としてプロシーディングス発行の準備をする。

## ウ. 国際学術研究集会

国際学術研究集会に出席する会員に補助を行う。

## エ. 募 金

事業および基金を充実するため、会員および団体からの募金を行う。

## (5) 名誉会員の推薦

## (6) 事務機械化に伴う整備

昭和60年度導入した機器による事務体制の強化のため、ソフトウェア及びデータの整備に努める。

## (7) 学術用語集の出版

## (8) 第24期役員選挙

## 12. 昭和61年度予算(案)の審議

土屋担当理事から資料にもとづき、概要次のとおり説明があった。

- (1) 収入の部の通常会員の会費は前年度に引き続き会員減によって若干減っている。その他の会員から徴収する会費と合計すると109万円程度前年度より増えている。

事業収入については予稿集の値上げによる増加以外は前年度並である。

雑収入については別刷代、投稿料、広告料の値上げにより190万円程度より増えている。

- (2) 支出の部の管理費についてはほぼ前年度並である。

事業支出は336万円の増となっているが、これは会議費(数値予報シンポジウム)、天気、気象集誌

の内容充実が主なものである。

議長から昭和61年度事業計画案、予算案の2件について質問意見等の発言を求めた。

質問：気象研究ノート原稿料は出しているか。

回答：原稿料は充分とは言えないが考慮されている。

質問：十分に原稿料を出せば原稿が多く集まるのではないか。会員はたくさん出版されることを希望している。

回答：前年度はいろいろな事情で1冊の出版にとどまったことは残念である。今年度は希望に沿うよう努力したい。

議長から昭和61年度事業計画案、予算案の2件につき承認を求めたところ、多数により承認された。

## 13. 名誉会員の推薦

山元理事長から提案理由が説明された。

## (1) 吉武素二会員を名誉会員に推薦する件

提案理由：本学会機関誌に優れた論文を寄稿し、気象学、特に気象観測法や気象力学の発展に寄与した。

本学会役員として長期にわたり(理事通算12年、評議員6年)本学会の維持・発展、特に学会の事務体制の確立に努めた。気象庁職員として、気象事業の発展ならびに気象技術の向上に貢献した。

これらの功績を高く評価し、本学会定款第6条第5項を適用して、名誉会員に推薦する。

## (2) 高橋浩一郎会員を名誉会員に推薦する件

提案理由：本学会機関誌に優れた論文を寄稿し、気象学、特に長期予報の研究の発展に寄与した。

本学会役員として長期にわたり(理事通算22年、監事10年、評議員14年)本学会の維持・発展に努めた。

気象庁職員として、気象事業の発展ならびに気象技術の向上に貢献した。

これらの功績を高く評価し、本学会定款第6条第5項を適用して、名誉会員に推薦する。

## (3) 磯野謙治会員を名誉会員に推薦する件

提案理由：本学会機関誌に優れた論文を寄稿し、気象学、特に雲物理学の発展に寄与した。

本学会役員として長期にわたり(理事通算14年、理事長4年、評議員6年)本学会の維持・発展に努めた。

名古屋大学教授として、永年にわたり気象学の発展に貢献した。

これらの功績を高く評価し、本学会定款第6条第5項を適用して、名誉会員に推薦する。

一括採決の結果、賛成多数で推薦することが議決された。

#### 14. 議長解任

議長より、会員の協力により無事議長の務めを果たすことができたことに謝意を表す、との議長解任の挨拶があった。

#### 15. 閉会の辞

以上をもって昭和61年度社団法人日本気象学会総会が終了した。

## 気象研究ノート 第153号

——気象教育特集—— (1986年3月)

河村 武 伊藤久雄  
吉野 清 浦野 弘  
原嶋宏昌 玉木 孚

### 目次

- I. 気象教育の現状と問題点一序に代えて一
- II. 学校教育の中での気象の扱い
- III. 小学校における気象の教材教具
- IV. 中学校における気象の教材教具
- V. 学校における気象観測
- VI. NHK学校放送番組における「気象関連番組について」
- VII. WMOの気象教育
- VIII. 気象教育に役立つ文献資料

### 配布価格

通常会員 1,200円 定期購読会員 890円 団体会員 1,550円 会員外 1,800円

日本気象学会誌 気象集誌

## 第II輯 第64巻 第3号 1986年6月

- 野田 彰： 波の振幅について2次のフラックスと群速度の間に成り立つ一般的関係
- 高藪 出： 偏西風ジェットに伴い発達する低気圧の前線形成と閉塞における移流の役割
- 時岡達志・鬼頭昭雄・片山 昭： エルニーニョ完熟期の海面水温異常に対する大気の応答：  
1月の状態での数値実験
- 川村隆一： 北太平洋における大気-海洋相互作用の季節依存性
- 新田 勲： 西部太平洋雲量の長期変動
- Sanga・Ngoie KAZADI： 熱帯大規模場に関する解析的研究. I. 風・高度・温度場の統計解析
- 二宮洗三・村木彦磨： 1979年梅雨期東アジアの大規模場の特徴
- 戸矢時義・木村富士男・村山信彦： 複雑地形上での局地風による汚染質の中距離輸送の航空機観測

### 要報と質疑

- T.A. SHARIF, P.S. SEHRA and A.K. NASHNOSH： 衛星観測により明らかにされた夏のモンスーンと上部対流圏、成層圏領域との相互作用

# 収支計算書

(昭和60年4月1日から昭和61年3月31日まで)

社団法人 日本気象学会

## 1. 収支計算の部

1) 収入の部		勘定科目		予算額 円	決算額 円	内		差異 円	備考
大科目	中科目	小科目	目			公益部門 円	収益部門 円		
会費収入	通常会費収入	個人会費収入	個人会費収入	3420560	34699368	34699368		493908	
	団体会費収入	団体会費収入	団体会費収入	25071640	24643234	24643234		△428406	
	外国人会費収入	外国人会費収入	外国人会費収入	4946210	5446600	5446600		500390	
			外国個人会費収入	775300	935597	935597		160297	
			外国団体会費収入	642310	914937	914937		272627	
	賛助会費収入	賛助会費収入	賛助会費収入	2,770,000	2,759,000	2,759,000		△11,000	
事業収入			気象研究ノート収入	13803990	10121974	3220045	6901929	△3682016	
			予稿集収入	7299560	4029590		4029590	△3269970	未収金1319990円を含まず
			その他の収入	2649700	2759445	2759445		109745	
			その他の収入	3854730	3332939	460600	2872339	△521791	会費、入会費、その他
補助金収入			文部省補助金収入	3,710,000	3,710,000	3,710,000		0	
雑収入			雑収入	10499650	10552187	4646279	5905908	52537	印刷代、送料、その他
寄付金収入			寄付金収入		500,000	500,000		500,000	
基本財産収入			基本財産収入	1,000,000	1,052,998	1,052,998		52,998	
その他の収入			期末棚卸高		1166911		1166911	1166911	
			公社債信託取崩収入		20000000	20000000		20000000	
前期繰越収支差額			前期繰越収支差額		△18441274	△18441274		△18441274	
収入合計			収入合計	63,219,100	63,362,164	49,887,416	1,397,478	143,064	

2) 支出の部		勘定科		科目		予算額 円	決算額 円	内 訳		差異 円	備 考
大科目	中科目	小科目	目	公益部門 円	収益部門 円						
管理費						14330450	13097595	9897967	3199628	△1232855	
	給料手当		給料手当			5199980	5256266	3942200	1314066	56286	
			退職給与引当金繰入額			300000	300000	300000	0	0	
			退職金		職	0	0	0	0	0	
	福利厚生費		福利厚生費			400130	385692	385692	0	△ 14438	
	会議費		会議費		会	995450	804970	603727	201243	△ 190480	
	旅費交通費		旅費交通費		旅	380250	176830	132623	44207	△ 203420	
	通信運搬費		通信運搬費		通	1599850	1040605	780454	260151	△ 559245	
	什器備品費		什器備品費		什	200000	216610	162458	54152	16610	
	消耗品費		消耗品費		消	200000	391558	293668	97890	191558	
	印刷製本費		印刷製本費		印	149650	130575	97931	32644	△ 19075	
	光熱水料		光熱水料		光	229640	190101	142576	47525	△ 39539	
	賃料		賃料		賃	400000	358267	268700	89567	△ 41733	
	租税公課		租税公課		租	400000	206650	0	206650	△ 193350	
	雑費		雑費		雑	900000	610333	457750	152583	△ 289667	
	支部交付金		支部交付金		支	2420500	2440250	1830188	610062	19750	
	諸謝金		諸謝金		諸	55000	88888	0	88888	33888	
	総会費用引当準備金		総会費用引当準備金		総	500000	500000	500000	0	0	
	事務機械化引当準備金		事務機械化引当準備金		事	750000 △750000	750000 △750000	0	0	0	△750000円は什器 備品購入支出に振替

大 科 目	定 科 目		予 算 額 円	決 算 額 円	内 訳		差 異 円	備 考
	中 科 目	小 科 目			公 益 部 門 円	収 益 部 門 円		
事 業 費			47025900	44243767	35091165	9152602	△2782133	
	函 書 購 入 費	函 書 購 入 費	300000	372800	4000	368800	72800	
	臨 時 雇 賃 金	臨 時 雇 賃 金	288000	108000	81000	27000	△ 180000	
	会 議 費	会 議 費	1050000	1000000	750000	250000	△ 50000	
	旅 交 通 費	旅 交 通 費	188750	226200	169650	56550	37450	
	通 信 費	通 信 費	4862500	4006115	3004586	1001529	△ 856385	
	編 集 費	編 集 費	4383150	2802265	2101699	700566	△1,580885	
	印 刷 製 本 費	印 刷 製 本 費	32388600	32009172	25337890	6671282	△ 379428	
	負 担 金	負 担 金	54900	39500	29625	9875	△ 15400	
	雑 費	雑 費	300000	268000	201000	67000	△ 32000	
	学 会 支 出	学 会 支 出	200000	200000	200000	0	0	
	藤 原 支 出	藤 原 支 出	100000	100000	100000	0	0	
	山 本 支 出	山 本 支 出	200000	200000	200000	0	0	
	奨 励 金 支 出	奨 励 金 支 出	210000	210000	210000	0	0	
	国 際 学 術 交 流 費	国 際 学 術 交 流 費	10000000	2701715	2701715	0	451715	2000000円は、 向基金に繰入れ
予 備 費	予 備 費	予 備 費	△12500000	0	0	0	△ 250000	(注2)参照
繰 入 金 支 出								
	国 際 学 術 交 流 基 金 繰 入	国 際 学 術 交 流 基 金 繰 入		750000 1250000	2000000		2000000	
そ の 他 支 出	什 器 備 品 購 入 支 出	什 器 備 品 購 入 支 出	750000	750000	750000		0	
	公 社 債 投 資 信 託 支 出	公 社 債 投 資 信 託 支 出		914237	914237		914237	
	期 首 棚 卸 高	期 首 棚 卸 高		1005466		1005466	1005466	
支 出 合 計	(B)	(B)	62106350	62011065	48653369	13357696	△ 95285	
次 期 繰 越 収 支 差 額	(C) = (A) - (B)	(C) = (A) - (B)		1351099	734047	617052		(前期繰越剰余金) 2486901
(う ち 当 期 分)				(19792373)	(19175321)	(617052)		

(注1) 費用の公益・収益の割合は、7.5対2.5の比率による。(注2) 予備費の△1,250,000円は、国際学術交流費1,250,000円に充当し、同基金に繰入れた額である。



2. 正味財産増減計算の部

1) 増加の部		科目 目	決 算 額 円	内		記 部 門 円	備 考
勘 大 科 目	中 科 目			公 益 部 門 円	収 益 部 門 円		
資産増加額							
		基本財産、貸付信託増加額	2,000,000	2,000,000			
		退職給与引当金、金銭信託増加額	300,000	300,000			
		総会費用引当金、公社債増加額	500,000	500,000			
		什器備品増加額	750,000	750,000			
		公社債投資信託増加額	914,237	914,237			
		期末棚卸高増加額	519,398	519,398			
前期繰越増減差額							
		前期繰越増減差額	20,940,303	20,940,303			
増加額		増減合計(D)	25,923,938	25,923,938			

2) 減少の部

2) 減少の部		科目 目	決 算 額 円	内		記 部 門 円	備 考
勘 大 科 目	中 科 目			公 益 部 門 円	収 益 部 門 円		
負債増加額							
		退職給与引当金増加額	300,000	300,000			
		総会費用引当金増加額	500,000	500,000			
基本金組入れ							
		基本金組入額	2,000,000	2,000,000			
資産減少額							
		什器備品減価償却額	530,569	530,569			定率法による。
		公社債信託減少額	20,000,000	20,000,000			
		什器備品除却額	94,340	94,340			
減少額		減合計(E)	23,424,909	23,424,909			
次期繰越増減差額(F) = (D) - (E)			2,499,029	2,499,029			
(うち当期分)			(△18,441,274)	(△18,441,274)			収益事業分剰余金
公益事業剰余金合計(G) = (C) + (F)			3,233,076	3,233,076			(3,103,953)
(うち当期分)			(734,047)	(734,047)			うち当期分(617,052)
							剰余金合計額
							(6,337,029)
							(1,351,099)

## 貸借対照表

昭和61年3月31日

社団法人日本気象学会

## 1. 資産の部

大科目	勘定科目		合計金額 円	内			収益部 円	損部 円
	中	科		公	益	部		
流動資産		現金	130,483	117,778		12,705		
		普通預金	2,259,222	1,774,605		484,617		
		郵便振替貯金	220,616	100,886		119,730		
		公社債信託取崩金	20,000,000	20,000,000		0		
		未収金	1,319,990	0		1,319,990		
	棚卸資産	1,686,309	5,193,98		1,166,911			
流動資産合計(A)			25,616,620	22,512,667			3,103,953	
有形固定資産		什器備品	1,979,631	1,979,631		0		
		有形固定資産(B)					0	
その他の資産			1,979,631	1,979,631			0	
基本財産、貸付信託		退職給付引当金	17,150,000	17,150,000		0		
		貸付金	600,000	600,000		0		
		総会費用引当金	1,100,000	1,100,000		0		
		公社債信託						
	その他の固定資産合計(C)			18,850,000	18,850,000		0	
固定資産合計(D) = (B) + (C)			20,829,631	20,829,631			0	
資産合計(E) = (A) + (D)			46,446,251	43,342,298			3,103,953	

貸借対照表

昭和61年3月31日

社団法人日本気象学会

2. 負債の部

大科目	勘定科目	合計金額	内		訳	
			金額	円	円	円
流動負債	前受会費	21,259,222	21,259,222		0	
	流動負債合計(F)			21,259,222		0
固定負債	退職給与引当金	600,000	600,000		0	
	総会費用引当金	1,100,000	1,100,000		0	
固定負債合計(G)		1,700,000		1,700,000		0
負債合計(H)=(F)+(G)		22,959,222		22,959,222		0

3. 正味財産の部

大科目	勘定科目	合計金額	内		訳	
			金額	円	円	円
基本金	学生会基金	9,650,000	9,650,000		0	
	藤原賞基金	1,500,000	1,500,000		0	
	山本賞基金	3,000,000	3,000,000		0	
	国際学術交流基金	3,000,000	3,000,000		0	
基本金合計(I)		17,150,000		17,150,000		0
剰余	剰余金(J)	6,337,029	3,233,076			3,103,953
	(うち当期分)	(1,351,099)	(734,047)			(617,052)
剰内	次期繰越収支差額		734,047			
	(うち当期分)		(19,175,321)			
剰余	次期繰越増減差額		2,499,029			
	(うち当期分)		(△18,441,274)			
金	前期繰越金					2,486,901
	正味財産合計(K)=(I)+(J)		23,487,029		20,383,076	3,103,953
負債及び正味財産合計(L)=(H)+(K)		46,446,251		43,342,298		3,103,953

## 昭和60年度 財産目録

(昭和61.3.31現在)

社団法人 日本気象学会  
理事長 山元龍三郎

資産総額 45,126,261円

1. 基本財産 (基本金、基金) 17,150,000円

不動産 0円

動産 17,150,000円

種類	預入先	金額(円)	現在高(円)	備考
貸付信託	住友信託銀行(日比谷支店)	9,650,000	9,650,000	基本金
〃	〃	3,000,000	3,000,000	山本賞基金
〃	〃	500,000	500,000	藤原賞基金
〃	三井信託銀行(本店)	1,000,000	1,000,000	〃
公社債信託	野村証券KK(銀座支店)	3,000,000	3,000,000	国際学術交流基金
計		17,150,000	17,150,000	

2. 積立金 1,700,000円

種類	預入先	金額(円)	現在高(円)	備考
金銭信託	住友銀行(日比谷支店)	600,000	600,000	退職給与積立金
公社債信託	野村証券KK(銀座支店)	1,100,000	1,100,000	総会費用積立金
計		1,700,000	1,700,000	

3. 運用財産 22,610,321円

種類	預入先	金額(円)	現在高(円)	備考
普通預金	第一勧業銀行大手町支店	2,259,222	2,259,222	
郵便振替貯金	東京中央郵便局	220,616	220,616	
公社債信託	野村証券KK(銀座支店)	2,000,000	2,000,000	
〃	日興証券KK(新丸ビル支店)	18,000,000	18,000,000	
現金	手許保管	130,483	130,483	
計		22,610,321	22,610,321	

4. 什器備品 1,979,631円

5. 期末在庫 1,686,309円

社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を、次のとおり監査したので報告する。

1. 監査月日 昭和61年4月18日
2. 監査場所 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
社団法人日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
 

(1) 昭和60年度収支計算書、貸借対照表	(8) 領収証綴
(2) 財産目録	(9) 預金証書及び普通預金通帳
(3) 総勘定元帳	(10) 郵便振替受払通知票綴
(4) 現金出納帳	(11) 国庫金送金通知書綴
(5) 預金出納帳	(12) 現金書留受領簿
(6) 備品台帳	(13) 小切手帳及び振出帳簿
(7) 物品出納帳(物品在庫調書を含む。)	(14) 昭和60年度事業報告書

4. 監査内容

- (1) 昭和60年度収支計算書及び貸借対照表について、その経理状況を監査するとともに、財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について、照合を行うとともに、出納状況及び記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況について、聴取し、意見を述べた。

5. 監査意見

監査の結果、昭和60年4月1日から昭和61年3月31日までの会計年度の収支決算書は正しいと認める。会計帳簿を照合したところ、その記帳は正確であり、整理もよくなされている。会費収入状況は良好であり、その前納率は98%を超えている。財政は一応安定しているが、経費の節約につとめるなど、役員並びに事務局員の労を多とする。

事業はほぼ計画どおりに遂行されている。この中で気象研究ノートの発行は計画を大きく下まわった。発行体制の強化が求められる。国際学术交流事業は貴重な成果をあげているが、今後財源獲得の努力が求められる。日本学術会議法改正に伴う法的体系の整備は理事会において検討されているが、早期に提案されることが求められる。事務体制強化のため新たに機器が購入されたが、効率的運用を行う体制が求められる。

会員各位の努力により、会員数は微減にとどめたが、ひきつづき会員増加のための方策が必要である。

昭和61年4月18日

監事 丸山 健人 ㊟

監事 山田 文雄 ㊟

# 昭和 6 1 年度予算書 (案)

410

社団法人日本気象学会

## 収入の部

(昭和61年4月1日~昭和62年3月31日)

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目	(円)	(円)	(円)	
会費収入			35,297	34,205	1,092	
	通常会費収入	個人会費収入	5,900	5,932	△ 32	2/1現3,493人 62/1~3月の分
	団体会費収入	外国会費収入	4,946	4,946	0	2/1現512ヶ所 61年度分
	外国会費収入	外国団体費収入	189	233	△ 44	2/1現73人 62/1~3月の分
		外国団体費収入	173	234	△ 61	2/1現47ヶ所 62/1~3月の分
	賛助会費収入	賛助会費収入	2,830	2,770	60	46団体
	前受金	前受金	21,259	20,090	1,169	61/4~61/12 の分
事業収入			15,051	13,804	1,247	
	気象研究ノート収入	気象研究ノート収入	7,300	7,300	0	
	予稿集収入	予稿集収入	3,920	2,650	1,270	
	初任者研修	初任者研修	877	900	△ 23	
	書店扱収入	書店扱収入	2,570	2,570	0	
	ペーパーズ収入	ペーパーズ収入	384	384	0	
補助金収入						
	文部省補助金収入	科学研究費収入	3,710	3,710	0	
雑収入			12,429	10,500	1,929	
	受取利息	受取利息	700	500	200	
	別刷	別刷	3,136	3,000	136	
	投稿料	投稿料	5,181	4,300	881	
	広告料	広告料	2,912	2,200	712	
	その他	その他	500	500	0	
基本財産収入						
	基本財産収入	預金収入	1,000	1,000	0	
積立預金	総会費用引当金積立預金取崩収入	総会費用引当金積立預金取崩収入	1,000	0	1,000	
取崩収入	退職給与引当金積立預金取崩収入	退職給与引当金積立預金取崩収入	0	0	0	
収入計			68,487	63,219	5,268	
当線越金						
	前受金	前受会費	18,785	19,232	△ 447	62/4~62/12 の分
前線越金						
	線越収支差額	線越収支差額	1,351	1,062	289	
合計			88,623	83,513	5,110	

## 支 出 の 部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	( 冊 )	( 冊 )	( 冊 )	
管理費			16,156	15,080	1,076	
	給 料 手 当	給 料 手 当	5,873	5,200	673	
	退職給与引当金繰入額	退職給与引当金繰入額	300	300	0	
	退 職 金	退 職 金	0	0	0	
	福利厚生費	福利厚生費	400	400	0	
	会 議 費	会 議 費	1,150	995	155	数値予報シンポジウム共催関係
	旅費交通費	旅費交通費	380	380	0	
	通信運搬費	通信運搬費	1,650	1,600	50	
	什器備品費	什器備品費	233	200	33	
	消耗品費	消耗品費	300	200	100	
	印刷製本費	印刷製本費	570	150	420	24期選挙関係費を含む
	光熱水料	光熱水料	230	230	0	
	賃 借 料	賃 借 料	400	400	0	
	租 税 公 課	租 税 公 課	400	400	0	
	雑 費	雑 費	900	900	0	
	支部交付金	支部交付金	2,520	2,420	100	関西、北海道支部夏季大の分を含む
	諸 謝 金	諸 謝 金	100	55	45	
	総会費用引当金準備金	総会費用引当金準備金	0	500	△500	
	事務機械化引当金準備金	事務機械化引当金準備金	750	750	0	2年度2年分

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	( 冊 )	( 冊 )	( 冊 )	
事業費			47,886	44,526	3,360	
	図書購入費	図書購入費	392	300	92	賛助会員への図書配布
	臨時雇賃金	臨時雇賃金	288	288	0	
	会議費	会議費	2,050	1,050	1,000	数値予報シンポジウム関係
	旅費交通費	旅費交通費	189	189	0	
	天 気		19,723	18,599	1,124	24頁増年792 頁口絵の充実
		印刷製本費	14,680	13,556	1,124	
		編集費	2,026	2,026	0	
		通信運搬費	3,017	3,017	0	
	気象集誌		14,749	13,834	915	36頁増年1,000 頁の分ブローディングスの編集費を含む
		印刷製本費	11,990	11,390	600	
		編集費	1,802	1,505	297	
		通信運搬費	957	939	18	
	気象研究ノート		6,819	6,819	0	
		印刷製本費	5,487	5,487	0	
		編集費	716	716	0	
		通信運搬費	616	616	0	
	予稿費		2,049	1,745	304	
		印刷製本費	1,760	1,456	304	
		通信運搬費	289	289	0	
	初任者研修		637	637	0	
		印刷製本費	500	500	0	
		編集費	137	137	0	
	負担金	負担金	80	55	25	
	雑費	雑費	300	300	0	
	学会賞	学会賞	200	200	0	
	藤原賞	藤原賞	100	100	0	
	山本賞	山本賞	100	200	△ 100	
	奨励金	奨励賞	210	210	0	
国際学術 交流費						
	国際学術交流費	国際学術交流費	1,600	1,000	600	
予備費						
	予備費	予備費	1,500	1,500	0	ブローディングス 編集費補てんを含む
支 出 計			67,142	62,106	5,036	
次 繰 越 金			21,481	21,407	74	
	前受金	前受会費	20,285	20,232	53	
	次期繰越額	次期繰越額	1,196	1,175	21	
合	計		88,623	83,513	5,110	